

葛尾村と復興まちづくりに係る包括連携協定を締結

工学部は、福島第一原子力発電所事故により全村避難し、復興に取り組んでいる葛尾村(福島県双葉郡)と5月15日(金)に復興まちづくりに係る包括連携協定を締結しました。工学部では、平成26年度より国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の事業採択を受け、比較的浅い地中に蓄えられた熱を住宅の冷暖房などに活用する「浅部(せんぶ)地中熱」の利用技術の実用化に向けた研究が進められており、今後は同村で実用化に向けた実証実験を行い、葛尾村が復興のテーマとして策定した「かつらお再生戦略プラン」に掲げる「エコ・コンパクトビレッジ」を実現するため、葛尾村の復興に向けた取り組みを支援していきます。締結式は葛尾村役場で行われ、橋本道雄NEDO新エネルギー部長が同席する中、出村克宣工学部長と松本允秀村長が協定書に調印しました。工学部の県内自治体との協定締結は今回で4件目であり、工学部の技術を活用して復興や地域振興に向けた取り組みを工学的な立場から支援しています。



徳定川清掃を行いました

水環境について学ぶ土木工学科の研究室の学生と教員が中心となり、「清流で潤いある河川が流れるキャンパスを目指す」ことを目的に、毎年春・秋の年2回行われている徳定川清掃。今年の春は5月23日(土)に行われ、学生・教職員・卒業生だけでなく、キャンパス周辺の4町内会で結成された徳定川(古川池)愛護会を中心とする地域住民の方々、そして愛護会に所属する品川萬里郡山市市長や郡山市職員の方など総勢130名が参加する一大イベントになりました。品川市長は、「こうした取り組みを大学が主導的に行っていることは、大変素晴らしいと思います。大学と市民のコラボレーションのひとつの形として、まちづくりのモデルになってほしい」と期待を寄せていました。参加した学生たちも「少しは社会に貢献できたかなと思います。これからも活動に参加していきたいです」と話していました。



郡山市まちなか子ども夢駅伝競走大会運営をサポート

5月30日(土)に開催された『郡山市まちなか子ども夢駅伝競走大会(郡山市まちなか子ども夢駅伝競走大会実行委員会主催)』で、機械工学科サステナブルシステムデザイン研究室、陸上競技部、応援団が協力し、記録集計係や走路員として大会運営をサポートしました。この大会には幼稚園児から小学6年生まで男女8部門に128チーム、約770人がエントリー。工学部の学生は記録集計に使用するソフトウェアの準備から当日の記録集計、子どもたちのコース外への飛び出しや障害物への衝突防衛、折り返し地点での誘導を担当しました。子どもたちや商店街の方々とふれあいながら大会運営に貢献しました。



医工連携研究の成果報告会を開催しました

6月6日(土)次世代工学技術研究センターにて、平成26年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業研究成果報告会を開催しました。本事業に採択された『Active agingを支援するバイオメディカル工学の研究拠点—福島県の震災復興に貢献する医工連携研究—』における研究成果報告であり、『新しい予防医学システムの開発』、『人に優しい診断治療機器の開発』、『診断治療のための新規機能分子・測定法の開発』の3つの課題について、それぞれの研究者が発表しました。また、特別講演では、日本大学総合科学研究所の千葉敏雄教授(研究所)が『8K映像技術による高画質内視鏡システムの開発』と題して講演を行いました。



大学院特別講義を行いました

日本大学大学院工学研究科では、教育課程を超えた幅広い教育研究に資するため、毎年『大学院特別講義』を行っています。今年度は7月9日(木)に群馬大学大学院理工学府分子科学部門助教の吉原利忠氏による『光化学を利用した生体内情報計測』を開講。工学研究科の学生だけでなく、一般の方にもご聴講いただきました。これまでの教育研究活動や最先端の技術など大変役立つ内容で、学生にとっても貴重な講義になりました。



奨学生及び特待生賞状授与式を行いました

平成27年度日本大学各種奨学生及び日本大学特待生賞状授与式を7月23日(木)に執り行いました。詳細は以下のとおりです。

受 賞 者	日本大学特待生(甲種).....	4名
	(乙種).....	21名
	日本大学古田奨学生.....	1名
	日本大学ロバート・F・ケネディ奨学生.....	1名
	日本大学オリジナル設計奨学生.....	2名
	日本大学エヌドット奨学生.....	6名
	日本大学工学部奨学生(第1種).....	6名
	日本大学工学部奨学生(第2種).....	4名
	日本大学工学部奨学生(第3種).....	2名
	日本大学工学部奨学生(第4種).....	18名
	日本大学工学部五十嵐奨学生.....	12名
	計	77名

未来へ語り継ぎたいものがある

工学部広報

2015 No.244 平成27年7月25日

編集:日本大学工学部広報委員会
発行:日本大学工学部 TEL(024)956-8618
〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1
http://www.ce.nihon-u.ac.jp E-mail koho@ao.ce.nihon-u.ac.jp

ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せください。



このリフレットは環境に配慮した
「水溶性印刷」により印刷されています。



この印刷物は
再生紙を使用しております。

No.244
2015.7.25

未来へ語り継ぎたいものがある



工学部広報



平成27年度新入生集合写真(2015.4.30撮影)

CONTENTS

新入生特集

新入生の声 P1-2
新入生行事紹介 P3-4

工学部生たちのライフスタイル P5-7

ヨーロッパ研修旅行体験記 P8

教員の活躍 P9

平成27年度科学研究費助成事業交付者 P10

〈就職特集〉

●工学部就職情報 P11-12

●高校教員のススメ P13

平成27年度父母懇談会 P14

工学部だより P15

工学部での新たな挑戦が始まる!

新入生の皆さんは、どんな夢や目標を持って大学生活を送っているのか、その思いを語ってもらいました。



土木工学科1年
菊地 菜々さん（福島県出身）

土木の知識を伝える指導者になるために

土木工学科の魅力は、震災からの復興、災害に強く長持ちするインフラの実現、自立共生のまちづくりなど、地域に根差した最先端の研究に取り組めること。その土木の知識を発展途上国に伝える指導者になりたいと考えています。将来の夢をかなえるために、たくさんの人と出会い海外で活躍できるコミュニケーション力を身につけたいと思います。

★マイトビ

楽しい学生生活が送れるか不安でしたが、友人にも恵まれ今は充実しています。さまざまなことに挑戦したいと思い、赤十字奉仕団に入りボランティアを体験しています。



建築学科1年
杉村 紘輝さん（東京都出身）

TOEIC、FE、宅建など資格取得が目標

もともと建築に興味がありましたが、震災後に建築学科の先生が手がけた仮設住宅のことで知り、ぜひ学んでみたいと思い入学しました。サークルは建築研究会と北桜祭実行委員会に所属。大学のさまざまな企画にも積極的に参加し、悔いのない学生生活にしたいです。また、TOEIC、FE、宅建など、できるだけ多くの資格を取得することが目標です。

★マイトビ

製図授業の課題や自主課題、建築研究会の模型作りに追われる日々ですが、勉学、サークルともに全力で取り組み、自分自身の糧にしたいと思います。



機械工学科1年
北川 健太さん（福井県出身）

世界で通用する創造的な技術者を目指して

自主創造の理念にひかれて工学部への進学を決めました。ロハスの工学や優秀な先生方の熱心な指導、学生同士が十分に触れ合う機会もあり、素晴らしい環境だと思います。関心のある航空系の分野や3Dプリンターのような新しい製造技術など、何かひとつ誰にも負けない技術を修得し、実用的な英語力を身につけ、世界に通用する創造的な技術者を目指します。

★マイトビ

念願だったサイクリング部に入部。仲間と思いや価値観を共有する大切さを感じながら、考え方の違う人とも交流し、視野を広げコミュニケーション力を高めたいです。



電気電子工学科1年
岩瀬 詩帆海さん(右)（宮城県出身）

大学院進学を視野に入れ勉学に励みたい

女子の少ない学科で不安もありましたが、学外研修のおかげで親しい友人もできました。互いに行き来し一緒に夕食を作って食べるなど、アパート生活を楽しんでいます。ゆくゆくは大学院に進学し、興味のある航空宇宙工学を学ぶことが目標です。そのためには成績でオールAを取れるように勉学に励むとともに、臨床工学技士の資格にも挑戦します。

★マイトビ

机に向かうだけでなく体も動かしたいと思い、ガンジュースポーツ同好会に入りました。工学部体育祭では先輩方を応援し、大いに盛り上げました。



生命応用化学科1年
大倉 瑠莉さん（長野県出身）

材料開発の研究者になる夢に向かって

化学が好きで、将来は化粧品や医薬品の材料をつくる仕事に就きたいと思い、生命応用化学科に進みました。日本大学はネームバリューがあり、就職に強いことが大きなメリット。広くて自然豊かなキャンパスも気に入っています。高校とは違う授業や化学の基礎を学べるのでとても面白いです。単位修得により取得できる危険物取扱者受験資格など、資格取得を目指します。

★マイトビ

大学院に進学し、研究者になることが私の夢です。教員や公務員になりたいという目標を持った仲間が多くて、刺激を受けながら日々切磋琢磨しています。



情報工学科1年
熊谷 悠さん（福島県出身）

コンピュータの専門知識を身につけたい

以前から学びたいと思っていたコンピュータの専門知識を身につけるために入学した工学部。学習環境が整っている広大なキャンパスには、日本全国から学生が集まり、とても活気に溢れています。ここで、いろいろな人と関わり、多種多様な考え方を吸収し、技術だけでなく人間性も磨きたいと思います。そして地元復興と社会の発展に貢献できる人材になれるよう頑張ります。

★マイトビ

情報研究会に入りました。授業の復習やソフトを使ったプログラミングなど先輩方からいろいろ教えていただき、ますますコンピュータの面白さを実感しています。



新入生行事紹介 Freshman's Events Introduction

新入生のためのイベント盛り沢山! 楽しく充実した大学生活にしよう!

工学部では、新入生が早く大学生活に馴染めるように、さまざまな行事を行っています。



この日を迎えた喜びに満ち溢れて

工学部開講式

入学式に先駆けて行われた工学部開講式。真新しいスーツに身をまとった新入生1,179人とその晴れ姿を見つめる多くのご父母の方で埋め尽くされた大講堂は、緊張感と熱気に包まれていました。



ツ
イ
ー
ト

- ▶ロハスに興味を持ちました。研究も頑張りたいです!
- ▶大学での目標は資格を取ることに!

先輩たちからの熱いエール

新入生歓迎行事

開講式後に行われた新入生歓迎行事では、北桜祭実行委員会、桜家一門YOSAKORI隊、応援団が登場し、それぞれのパフォーマンスで新入生たちに熱いエールを送りました。



ツ
イ
ー
ト

- ▶よさこいの先輩たちがカッコ良かった!
- ▶先輩も面白い方ばかりなので、楽しい大学生活が送れそうです。

大学生活を充実させるために

フレッシュマンセミナー

1年生を対象にしたフレッシュマンセミナーは、大学での学習方法や社会人になるための力を身につけるための講座。自主創造の基礎やキャリア研究講座のほか、学生生活で注意すべきことなどについて指導しています。



ツ
イ
ー
ト

- ▶大変な話でした。大学生活を取り巻く危険には気をつけたいですね。
- ▶工学部長との写真撮影も面白かった! みんなと触れ合えるいい行事だと思います。

視野を広げ知識を深める

教養講座

フレッシュマンセミナーの一環として、各界の第一線で活躍する著名人を講師として招き、人生観や世界観に触れる教養講座。政治から経済、科学や心理学まで幅広い分野の興味深い話を聴き、視野を広げる貴重な機会となりました。



ツ
イ
ー
ト

- ▶自分の知らない分野を究めた方の話を聴ける機会は、とても貴重だと思います。
- ▶自分にとってプラスになる話が聴けてよかったです。

仲間の輪が広がった!

新入生学外研修

各学科に分かれて行われた1泊2日の新入生学外研修。県内や新潟県の観光地を巡り歴史に触れるとともに、宿泊先ではオリエンテーションや懇親会が行われました。仲間や教員との親睦を深められ、とても楽しい時間になりました。

ツ
イ
ー
ト

- ▶知らない人ばかりで不安でしたが、友だちがたくさんできてよかったです。
- ▶いろいろな出身地の友だちと方言を比べて盛り上がりました!



思い出づくりはココから!

第4回工学部体育祭

今年は17チーム総勢244名が参加し、知力・体力・団結力を競って激突! 優勝はGeneralSports同好会に輝きましたが、硬式野球部やファミリーマーケット(情報工学科)など、1年生チームも大健闘でした。

ツ
イ
ー
ト

- ▶急ぎょ集まったメンバーでしたが、親睦が深まって楽しめました!
- ▶仲のよい友だちとの思い出づくりのために参加。来年も出場してリベンジしたい!



工学部生たちのライフスタイル

アパート生 キャンパスライフ

Apartment

自分だけの時間を大切にしながら、アパートでの自立した生活を満喫

工学部は 日々が違う!

多種多様な約90団体のサークルがある工学部。理系の大学では珍しく約6割の学生が所属し、仲間と同じ目標に向かって活動しています。

土木工学科 1年 **安部 義基** さん(山形県出身)

バドミントン部所属

アパート生活を選んだのは、自分だけの時間を大切にできるからです。その分、炊事や掃除など身の周りのことを自分でやらなくてはなりませんが、それもよい経験になると思いました。今は料理に夢中で、祖母の作った味を再現しようと大根の煮物や炊き込みご飯などに挑戦しています。このアパートは大学からも近く、ロフト付きが決め手になりました。お気に入りのソファに座り、大好きなJAZZを聴きながら一人暮らしを満喫しています。

アパート・下宿・自宅生は、それぞれどのようなキャンパスライフを過ごしているのか—その生活スタイルを紹介します。

※各学生のキャンパスライフに密着した「Begin2015・先輩たちのライフスタイル」は、工学部ホームページで詳しく紹介しています。

アパート生 キャンパスライフ

Apartment

サークル活動にも積極的に参加できることが、アパート生活の魅力です

工学部は 日々が違う!

工学部が提携している病院なら、実質自己負担ゼロで診療が受けられる学生医療割引制度は大きなメリット。学内には保健室もあり安心です。

機械工学科 3年 **小林 由樹** さん(栃木県出身)

ソフトテニス部所属

自宅から通うより通学時間のかからないアパート生活は、サークル活動にも積極的に参加できるのが魅力。ソフトテニス部に入り、週5日の練習で汗を流す日々を送っています。一人暮らしを始めた頃は面倒だと感じた掃除や洗濯も今ではお手のもの。なるべく自炊するように心掛けていたら、卵焼きや餃子など得意料理も増えました。最近はコーヒーにも凝っていて、自分で豆を挽いたコーヒーを飲むのがとっておきの時間になっています。

アパート生 キャンパスライフ

Apartment

親に負担をかけずに勉強、サークル、アルバイトを並立させる大学生活

工学部は 日々が違う!

学業優秀者や経済的な理由で進学が難しい方を対象にした工学部・日本大学独自の奨学金制度のほか、授業料相当額が給付される特待生制度もあります。

建築学科 3年 **小池 奈津美** さん(福島県出身)

硬式野球部所属(マネージャー)

親に負担をかけずに自力で進学したこともあり、当初は自宅から通学する予定でしたが、製図などの課題にしっかり取り組むために大学の近くに住むことにしました。勉強だけでなく、硬式野球部のマネージャーもやりつつ、アルバイトもこなす忙しい日々。でもそれが私らしいライフスタイルなのです。ON-OFFのメリハリつけることが、勉強、サークル、生活の並立を図る秘訣。将来に役立つ経験を積んでいきたいと思っています。

自宅通学 キャンパスライフ

Train

心強くて家族のサポートが大きな力になる自宅通学を選びました

工学部は 日々が違う!

プライベート機能付きキャンパスカードで学内の厚生施設が利用できるのは便利なサービス。現金をチャージしておけばカード払いOKです!

建築学科 2年 **尾澤 奈津海** さん(福島県出身)

応援団所属(マネージャー)

父と同じ建築の道に進むなら傍にいた方がいろいろ学べると思い、地元の工学部に進みました。自宅から大学まではかなり時間もかかりますが、家族がサポートしてくれるので心強く安心感もあります。電車通学は大好きな読書と音楽鑑賞の時間。電車の乗り継ぎの合間には郡山駅にある書店によく立ち寄っています。休日はほとんど製図の課題に追われていますが、愛犬と自然の中を散歩してリフレッシュできるのも自宅通学ならではの利点です。



下宿生

キャンパスライフ

Boarding house

食事の心配がなく、
ケガや病気の時にも安心な
下宿生活はお勧めです



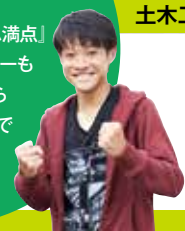
土木工学科 2年 山下 征二 さん(長崎県出身)

アメリカン
フットボール部
所属

下宿にした一番の理由は朝食と夕食が出ること。特に食べ盛りの男子学生にとって“味噌汁とご飯のお代り自由”は嬉しい特典です。下宿といってもここは門限がなく自由度も高いうえに、部屋も広くてきれいだったので選びました。友だちが作りやすいのも下宿のよいところで、すぐに他学科の同級生と仲良くなり同じサークルにも入りました。ケガや病気の時には病院にも付き添ってもらえるから、安心できる下宿生活をお勧めします。

工学部は
〇〇が違う!

『安い美味しいボリューム満点』
が自慢の学生食堂はメニューも
豊富。平日は8時30分から
20時まで利用できるので
朝・昼・晩3食OK!



下宿生

キャンパスライフ

Boarding house

安全で勉強に集中でき、
自宅にいるような感覚で
生活できます



建築学科 2年 小磯 満里恵 さん(茨城県出身)

フォークソング
同好会所属

女子学生にとって、安全で勉強に集中できる環境が整っている下宿は魅力的。雰囲気がよく大家さんも優しかったのでこの下宿に決めましたが、10年以上一緒にいた亀を飼うことも快く承諾いただけて良かったです。手作りの料理は美味しくて、毎日食事の時間が楽しみ。風邪をひいたとき、悩み事があるときなど、傍に大家さんがいてくれることで大変助かっています。自宅にいるような感覚で生活を送れることができ満足しています。

工学部は
〇〇が違う!

キャンパス周辺には工学部生
のためのアパートや下宿物件がた
くさんあり、大学を通じて紹介
してもらえるから安心。
首都圏と比べて格安な
のも魅力です!



異国の地での思い出を語る——異文化体験記

ヨーロッパ研修旅行

日本大学工学部では、国際感覚を身につけ広い視野に基づく世界観を養うことを
目的に、海外研修や留学制度を実施しています。平成27年2月21日(土)から3月6日
(金)に行われた『第44回ヨーロッパ研修旅行』には、40名の学生が参加しました。
その思い出や異文化体験の魅力について語っていただきました。



自分の得たもの

機械工学科4年
羽原 秀剛 さん(写真中央)

この文集が出来上がっている頃にはみんなまた別々の日常を送っていることだろう。そんなことを書いている今は3月3日、モンサンミッシェルから帰った後だ。いつの間にか長いはずだった2週間も終わりかけ、全てがこのままだったらと続けばいいのになんて考えている。この日々も普段とは違うからこそそのスパイスなんだろう。

あるパリでの昼食の時、テーブルに先生と3年と4年だけで固まったことがあり、将来の話になった。大学院に進学する人、就職する人、今後の進路はみんなさまざまだった。それでもこの旅行での思い出たちはそれぞれの心に残り続けていくんだろうと思う。ただ、この思い出たちが将来に何か影響をもたらすのかは今の自分には全く見当もつかない。

しかし、一つだけ確実に手に入れたものがある。それは、仲間だ。別に強い絆ができたとか大それたことを言うつもりはない。ただ、この非日常が終わって日常が始まったとしても、目があったら笑いあうくらいの仲間は沢山できたと思う。違う学年、違うサークル、違う学科、違う趣味の普段なら絶対に出会わない人たちと会えた。これは一生残るものだろう。正直、機械工学科の自分としては建物や偉大な人物の歴史的事実を未だ旅行中にも関わらずほとんど覚えていない。ただ、コインを投げたり、ゴンドラに乗ったり、変なポーズで写真を撮ったり、カモメに餌をやったことは覚えている。でもそれでいいんだと思う。こういう小さなことからそれぞれの人格が形成されていくのだろう。

そういう意味では自分にとって得るものの多かった旅行だと思う。



スペインの魅力的な建築物

建築学科4年
横川 結愛奈 さん

初めての海外旅行ということもあり、期待と不安でいっぱいだったが、すべてが新鮮で本当に沢山の経験をすることができた。今回とても印象に残ったのはバルセロナの建築物だ。日本と比べて個性的な建物が沢山あった。

カサ・ミラの屋上ではバルセロナの有名な建物を一望することができ、感動した。屋上には変わった形の像が何個もあるが、自然の形からヒントを得て生まれた形は私をとっても楽しい気分になってくれた。

また、鏡を使った吊り下りの話や楕円の形、ねじりの話を聞いて最初にその考えが思いつくガウディはやはり頭がよいと感心した。3つの竜をモチーフにした建物の中で、私はカサ・パトリョが一番気に入った。竜は悪い、怖いというイメージがあるが、とてもかわいいなと感じた。外観は屋根が水泡、入り口は恐竜の首の骨を意識して作られ、内観は海の中を歩いているようだった。ガラスはショーウィンドウの役目、柱は光を分散させる役目、ドアの役割は一日に始めと終わりを竜の骨で表されていた。

サグラダ・ファミリアはテレビや写真で何度も目にしていたが、想像していたよりも大きく壮大で、とても圧倒された。外観も感動したが、私は内観が気に入った。木の枝分かれのように生えている柱はガウディが自然で育ち、一番落ち着くように考えたそう。七色の大きなステンドグラスから差し込む光は心をいやしてくれ、見学の時間があっという間に過ぎてしまった。ガイドさんから建物や彫刻に秘められたキリスト、ユダの物語の説明を聞いて宗教についても学びたいと思った。

今度来る時は、サグラダ・ファミリアの完成した姿を見たいと思った。

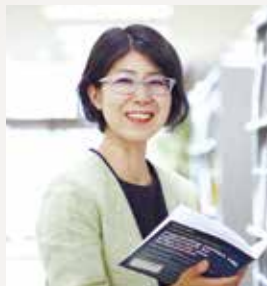


教員の活躍

学術研究、地域貢献など、
さまざまな分野で活躍する
教員の研究活動を紹介します。

海外の魅力ある都市の在り方を 福島のまちづくりに活かすために

建築学科の市岡綾子専任講師は日本大学海外派遣研究員として
2014年3月から約1年間、海外での研究活動に従事されました。海外
の魅力があると言われる都市に滞在し、なぜそうと言われるのか、何が
魅力なのかを調査し、福島のまちづくりに役立てることが目的でした。



建築学科 専任講師
市岡 綾子

滞在先はOECD(経済協力開発機構)が報告したコンパクトシティ先進5
都市に選ばれたカナダのバンクーバー、911以降、危険なまちにならないようにさまざまな対策が取られてきたアメリカのニュー
ヨーク、歴史とデザインを融合させているイギリスのロンドン。それぞれの都市で一市民としてそ
のまちに住み、実際にイベントに参加したり、まちの施設を活用したり、市民生活を体験しながら
コミュニティの在り方や考え方を調査しました。その結果は今後論文として発表される予定です。
また、研究活動が続けてきた須賀川のまちづくりに也大いに役立つことが期待されています。



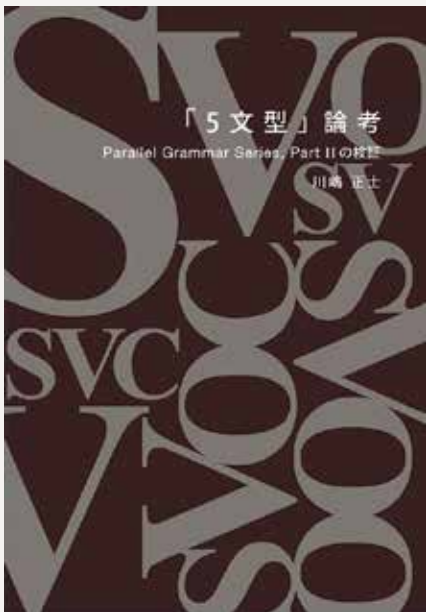
「5文型」の歴史と理論を 科学的に考察する研究成果が 高く評価される

この度、総合教育の川嶋正士准教授が英文法史研究の一環として、英国における
「5文型」の祖型の誕生までの経緯とその発達、そして消滅について考察した学術書
『「5文型」論考 Parallel Grammar Series, Part II の検証』(朝日出版社)を出版しまし



総合教育 准教授
川嶋 正士

た。川嶋准教授は言語学や英文法史を専門としており、新分野に挑戦した本書は、19世紀末に生まれた「5
文型」の祖型を用いて外国語の並行学習を提唱する
Parallel Grammar Series, Part II を検証し、「祖型」の
誕生以前から消滅以降の知られざる歴史を詳述する
とともに、「5文型」の問題点について考察したもので
す。475頁にも及ぶこの壮大な研究書は、今まで誰も深く掘り下げて研究したことのないテーマに取り
組んだものでしたが、その成果は多くの学術研究協力団体から高く評価されており、今後いくつかの
学会誌で書評が掲載されることになっています。



※これらの研究については、工学部ホームページで詳しく紹介しています。

平成27年度科学研究費助成事業交付者

独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。今年度、工学部では以下の研究が採択されました。

研究種目	学 科	資 格	代表者氏名	分担者 (学内)	連携研究者 (学内)	研 究 課 題 名	今年度交付額(円)		研究期間 (年度)
							直接経費	間接経費	
基盤研究(A)	土木	教授	岩城 一郎	子田 康弘	—	実物モデルを用いた性能評価に基づく高耐久コンクリート床版の開発と実装	15,600,000	4,680,000	H27-H29
基盤研究(B)	土木	教授	中野 和典	渡部 仁貴	—	多層型人工湿地-微生物燃料電池の確立とその水質浄化同時発電特性および機構の解明	3,800,000	1,140,000	H27-H29
	機械	教授	西本 哲也	—	—	ヒト胸腹部の損傷メカニズムの解明による災害発生時の安全ガイドラインの作成	4,400,000	1,320,000	H26-H28
	生命応用	准教授	児玉 大輔	—	—	イオン液体を利用した環境調和型CO ₂ 吸収分離再生プロセスの開発	3,300,000	990,000	H26-H28
基盤研究(C)	土木	教授	堀井 雅史	—	—	冬季道路の線形路面管理システムの構築	500,000	150,000	H26-H28
	土木	准教授	子田 康弘	—	—	水分凍結と材料劣化という積雪寒冷地域を考慮したRC部材の疲労耐久性評価	800,000	240,000	H26-H28
	土木	准教授	仙頭 紀明	—	—	液状化後の間隙の再配分を考慮した地盤変状評価手法の開発	900,000	270,000	H25-H27
	建築	教授	出村 克宣	齋藤 俊克	—	マクロセル腐食の抑制効果に優れたRC構造物用断面修復材料及び工法の開発	1,800,000	540,000	H27-H29
	建築	教授	速水 清孝	—	—	アントニン・レーモンドの設計手法に関する研究-戦前のスタッフとディテールを中心に	900,000	270,000	H25-H27
	建築	准教授	浦部 智義	—	—	東北地方に現存する野外舞台建築・芝居小屋の活用実態と地域における役割に関する研究	1,400,000	420,000	H26-H28
	建築	専任講師	市岡 綾子	—	—	歴史的なまち資源を活用した復興まちづくり	1,100,000	330,000	H25-H27
	建築	研究員	若井 正一	—	—	居住形態の変容からみた身体周囲の阿克苏法の動的計測と可視化に関する研究	800,000	240,000	H25-H27
	機械	教授	柿崎 隆夫	遠藤 央	—	減災のための人間及びその集団の動作を精密に考慮できる避難シミュレーション法の確立	1,400,000	420,000	H27-H29
	機械	教授	齋藤 明德	—	—	マシニングセンタの精度低下予防のための日常検査方法の開発	900,000	270,000	H26-H28
	機械	教授	彭 國義	清水 誠二	—	気泡流被覆水中アプレシブ・サスペンション・ジェット生成法の確立	1,200,000	360,000	H26-H28
	機械	准教授	伊藤 耕祐	—	—	合金含有複合炭素皮膜(AMe-DLC)を用いた高機能接触表面の創成	1,100,000	330,000	H26-H28
	機械	准教授	長尾 光雄	—	—	変形性膝関節症の早期防止を目指した診断支援システム用センサおよび計測装置の開発	500,000	150,000	H25-H27
	電気電子	教授	石川 博康	—	—	複数の無人航空機を用いたユース位置検出手法の研究	500,000	150,000	H27-H29
	電気電子	教授	髙田 聡	—	—	登山におけるリスク管理手法を共創する映像型コミュニケーションシステムの開発	1,000,000	300,000	H26-H28
	電気電子	教授	渡邊 博之	—	—	繰り返し学習に対応したLMSの開発と学習時間の分析	2,500,000	750,000	H27-H29
	電気電子	准教授	四方 潤一	—	—	フィードバック制御型テラヘルツ波計測システムの研究	1,400,000	420,000	H26-H28
	電気電子	研究員	野宮 正範	山口 脩	—	動脈硬化に伴う慢性膀胱虚血による低活動膀胱動物モデルの開発と病態の解明	1,500,000	450,000	H26-H28
	生命応用	教授	石原 務	—	—	ポリカチオン荷電性ポリマーを用いない多機能型核酸内包ポリプレックスの開発	1,200,000	360,000	H26-H28
	生命応用	准教授	上野 俊吉	—	—	水蒸気腐食性を有効に防止できるハフニア共晶系耐環境皮膜の創製プロセス	2,800,000	840,000	H27-H29
	生命応用	准教授	齋藤 義雄	—	—	新規pH応答性蛍光核酸による高感度なDNA-塩基知識別法の開発	1,200,000	360,000	H25-H27
	情報	教授	若林 裕之	—	—	レーダを用いた北極域ツンドラ湖の環境変動に関する研究	1,400,000	420,000	H26-H28
	情報	准教授	関澤 俊弦	—	—	動的システムに対する組み込み制御プログラムの信頼性検証に関する研究	1,100,000	330,000	H26-H28
	情報	准教授	中村 和樹	—	—	薄い一年氷の表層部における電気的特性の研究	600,000	180,000	H26-H28
	情報	准教授	山本 哲男	—	—	ソースコードコーパスを利用したソフトウェア開発支援手法	1,600,000	480,000	H27-H29
	情報	専任講師	宮村 倫司	—	—	建築構造詳細解析の高速化のためのファイバーコースグリッドMG法の開発	800,000	240,000	H24-H27
	総合教育	教授	藤原 雅美	—	—	延性二相合金における重層的な強化機構と高温変形律速機構の解明	900,000	270,000	H25-H27
	総合教育	准教授	荒木田英禎	—	—	重力場中の光の湾曲における宇宙定数の寄与に関する研究	1,600,000	480,000	H27-H29
挑戦的萌芽 研究	電気電子	教授	酒谷 薫	—	—	鍼灸によるストレス緩和作用の神経基盤の解明	900,000	270,000	H25-H27
	生命応用	教授	奥山 克彦	—	—	含トリチウム水分子THOの分子振動の選択的励起によるin-situ分離	1,000,000	300,000	H26-H28
	生命応用	准教授	平野 展孝	—	平野 勝紹	植物分解に適した遺伝子組換え嫌気性細菌の作出とバイオリファイナリーへの利用	800,000	240,000	H26-H28
	生命応用	専任講師	佐藤 公俊	—	—	水素・メタン発酵消化液中のイオン浮選によるリン回収	500,000	150,000	H25-H27
	情報	教授	杉山 安洋	—	—	異常が発生しても実行を継続できる柔らかなソフトウェアの研究	700,000	210,000	H25-H27
	総合教育	准教授	川嶋 正士	渡邊 博之	—	LMSを使った英語教員が作成できるe-learningプログラムの開発	700,000	210,000	H26-H28
若手研究(B)	総合教育	准教授	中野 浩一	—	—	身体教育の概念とその変遷について:二つの「身体」(生体・媒体)に基づく検討	1,100,000	330,000	H27-H29
	土木	助教	手塚 公裕	—	—	溜池における浮葉植物の大量繁茂による水生植物相の貧弱化メカニズムの解明	3,000,000	900,000	H27-H28
	建築	助教	齋藤 俊克	—	—	ハイブリッド型繊維補強によるボースコンクリートの耐久性の改善	1,100,000	330,000	H25-H27
	建築	助教	山岸 吉弘	—	—	大工棟梁「明王太郎」の建築生産活動に関する研究	400,000	120,000	H26-H28
	機械	助教	遠藤 央	—	—	ブルストロームスステージに適合する片麻痺患者支援のための動作解析に関する研究	900,000	270,000	H25-H27
	生命応用	准教授	内野 智裕	—	—	骨リモデリング応答型生体硬組織修復デバイスの創製	700,000	210,000	H26-H28
	情報	准教授	大山 勝徳	—	—	遠隔共同作業者間の話者交替と脳活動の比較による意思疎通の失敗とその兆候の発見	900,000	270,000	H26-H27
	情報	准教授	溝口 知広	—	—	多種多様な遠隔精密センサデータの総合的分析に基づく地上森林資源調査技術の開発	1,300,000	390,000	H27-H29
研究スタート支援	総合教育	助教	山田 隆行	—	—	高次元データの変多量解析についての統計的推測に関する研究とその応用	800,000	240,000	H26-H28
	情報	教授	上田 清志	—	—	激甚災害でも通信・通話継続するセッション制御サーバのデータ管理方法の確立	1,000,000	300,000	H26-H27
特別研究員奨励費	—	研究員	鈴木 梓	—	—	ワトソン・クリック塩基対形成を可能にする蛍光核酸のデザインとDNAプローブの開発	1,000,000		H26-H27
合計	採択件数合計49件(内新規12件)					小計	77,300,000	22,890,000	
						合計	100,190,000		

は、新規採択者

※分担者、連携研究者は学内者(工学部所属者)のみ表記、補助対象事業者は研究代表者・分担者とする

工学部の就職支援を 活用しよう！

工学部の平成26年度就職率は、学部で99.2%、大学院で100%と、高い水準を誇っています。日本大学全14学部の中でも薬学部に次いで2番目に高い実績となりました。

平成26年度の各学科別の就職状況および公務員・教員採用状況を示すとともに、今後の就職活動について紹介します。

全国平均を
上回る
高い就職実績

平成26年度就職率99.2%（学部・大学院含む）

平成26年度工学部対象の求人数は、昨年からさらに増加し、約11,500社でした。また、就職率も昨年を大幅に上回る99.2%となりました。特に理工系の求人が増えていたことが好結果につながったものと思われます。全卒業者における進路決定率を見ても、92.1%（9月卒含まず）と、全国平均をはるかに上回る実績をあげています。これは日本大学の中でも薬学部に次ぐもので、3つの理工系学部でもトップの数字です。公務員・教員採用に関しても、順調に採用実績をあげています。

※物質化学工学科は現在の生命応用化学科（）内女子数

平成26年度 学部・大学院 就職状況	区分	学科・専攻	土木	建築	機械	電気	生命・物質	情報	合計
	学部	就職者数	97(2)	149(31)	163(3)	159(3)	109(26)	160(6)	837(71)
		就職率	100%	100%	98.8%	99.4%	98.2%	98.8%	99.2%
	大学院	就職者数	3	12	15	17	19(1)	14	80(1)
		就職率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

平成26年度 公務員・教員 採用状況 (学部・大学院含む)		土木	建築	機械	電気	生命・物質	情報	合計
	公務員	17	11(2)	8	4	6	9	55(2)
	教員	0	1	2	2	0	2	7

平成28年3月卒業・修了見込者への就職支援

6月と7月に第2回工学部就職セミナーを開催しました。県内だけでなく、東北・関東・近畿・中国まで、全国から約300社の企業が参加。昨年を上回る多数の企業から参加依頼が殺到している状況です。引き続き企業の採用意欲は旺盛で、大学生の就職戦線は売り手市場となっていることがうかがえます。今後も就職セミナーを行いますので、内定が出ていない学生は、ぜひ参加してください。



就職行事
スケジュール

10/14※・日本大学本部（東京）
12/9※・日本大学合同企業セミナー

10/31※ 工学部キャンパス
第3回工学部就職セミナー

就職指導課に相談しよう

就活がなぜうまくいかないのか、その原因がわからなければ、いつまでも同じことを繰り返してしまうでしょう。就職指導課には専門スタッフがおり、学生一人ひとりの相談に応じていますので、一人で悩まず必ず相談してみてください。エントリーシートの添削、人事や社長宛ての手紙の出し方、模擬面接など、的確なアドバイスや指導も受けられます。就職指導課の他、就職指導委員や研究室の先生方に相談することで、道は拓けてくるはずです。



就職ガイダンス・就職試験対策等スケジュール

月 日	行事内容	月 日	行事内容
9/19(土)	第4回就職ガイダンス「エントリーシート対策講座Ⅰ～人事に響く自己PR編」	11/28(土)	第1回実践模擬面接「集団面接・グループディスカッション」
//	就職常識試験	11月～12月	業界別就職セミナー・就職活動体験発表会(学科ごと)
9/26(土)	第3回インターンシップガイダンス「インターンシップ参加者振り返りワーク」	12/12(土)	第8回就職ガイダンス「人気企業特別講演～企業人事が語る『採用したくなる人材とみるポイント』」
10/10(土)	第5回就職ガイダンス「エントリーシート対策講座Ⅱ～納得する志望動機編」	//	クレペリン検査
10/17(土)	第6回就職ガイダンス「理系学生は企業のココを見よう！～自分に合う企業やシゴトを見つけるポイント」	1/23(土)	第9回就職ガイダンス「合説を制する者は就活を制す合説100%活用講座」
//	日本語能力試験	2/4(木)	第10回就職ガイダンス「さあ、走り出す準備はできていますか？就活スタート直前講座」
10月～12月	キャリア研究講座(第3回・第4回)	2/5(金)	第2回実践模擬面接「個人面接」
11/7(土)	第3回SPI模擬試験	3/15(火)・16(水)	日本大学合同企業研究会・就職セミナー
11/21(土)	第7回就職ガイダンス「面接・グループディスカッション対策講座」	3/16(水)～18(金)	第1回工学部就職セミナー
//	第2回エントリー試験		

公務員試験対策講座等スケジュール

月 日	行事内容	月 日	行事内容
9/8(火)～11(金)	夏期特別集中講座 1～3年次生対象	12/19(土)	第3回公務員ガイダンス「公務員合格者体験発表会」全学年対象
9/14(月)	第2回公務員ガイダンス 全学年対象	2/12(金)～25(木)	実践コース③ 主に3年次生対象
9/19(土)～12/19(土)	基礎コース 主に1・2年次生対象	3/8(火)～11(金)	春期特別集中講座 3年次生対象
9/20(日)～12/19(土)	実践コース② 主に3年次生対象	3月下旬	全国版公務員模擬試験 3年次生対象
10/10(土)	第2回日本大学一斉公務員模擬試験 全学年対象		

1回のセミナーで700社以上が集まる工学部就職セミナーを有効活用

工学部独自の就職セミナーは年3回6日間にわたり開催され、多数の企業が参加しています(平成27年3月開催のセミナーでは、730社が参加)。学部独自では全国でも最大規模を誇るセミナーで、工学部の学生に対する企業の期待の大きさがわかります。内定につながる割合も高く、学内にいながら、多くの企業の人事担当者と面談できることは大きなチャンスです。

CSNavi(Career & Skill up Navigation System)の求人情報や就職行事など、工学部の就職支援はどこよりも充実しています。この支援を有効に活用しながら、希望の就職に向けて頑張ってください。

ものづくり日本を支える 若い力を育成するために

—日本大学工学部工業化学科に入学した理由をお聞かせください。

小学生の頃から理科が好きで、特に興味があったのは化学分野でした。それで工業高校の化学工学科に進んだのですが、勉強していくうちに化学を一生の仕事にしたいと考えるようになり、大学への進学を決めました。日本大学を選んだのは、伝統があり就職に強いことや学費も安かったことが理由です。

—高校教員の道に進まれたのはどのような理由からですか。

大学で教職課程は取っていましたが、実は卒業後に就職したのは一般企業でした。その会社に工業高校の出身者がいたことから、母校に貢献したいという思いが芽生え始めたのです。エンジニアを目指す若者を育てる教員の仕事にも魅力を感じました。もともと人が好きでしたし、教員という仕事は自分にとって天職かもしれないと感じたので、意を決してこの道に進んだのです。

—工業高等学校の現状についてお聞かせください。

工業高校では、ものづくりを通した人材育成に取り組んでいます。平成26年3月の卒業生は、製造業就職者の42.9%が工業高校の出身であり、元気で豊かな地方創生と言われる中、地域産業を支える工業高校生への期待は高まっています。さらに専門的に学ぶために、大学に進学するという道もあります。工業高校ではさまざまな資格取得や検定合格等に力を入れるとともに、ものづくりコンテストなどの各種競技・コンクール等での成績に応じ、生徒に「ジュニアマイスター」の認定を与える「ジュニアマイスター顕彰制度」も広く活用されています。生徒が目的意識を持って意欲的に取り組む姿勢に繋がっていますし、工業高校の多くの生徒が自信と誇りを持って卒業しているのは、こうした主体的で体験的な学習の積み重ねによる成果とも言えるでしょう。

その一方で、少子化の影響により工業高校が減っているのも事実です。日本の製造業を支え、ものづくり立国を目指すうえで、スペシャリストの育成は重要な課題であると思います。だからこそ、ものづくりに携わる有為な職業人を育成する工業高校は重要な教育の場なのです。職業人として必要な人間

公益社団法人
全国工業高等学校長協会 理事長
神奈川県立磯子工業高等学校 校長

棟方 克夫氏

プロフィール

1978(昭和53)年3月、日本大学工学部工業化学科(現生命応用化学科)卒業。一般企業に就職後1980(昭和55)年4月に神奈川県立横須賀工業高等学校教諭となる。神奈川県教育委員会高校教育課指導主事、神奈川県立総合教育センター基本研修課長、教頭、副校長、校長を歴任。2013(平成25)年4月神奈川県立磯子工業高等学校校長に着任。現在、公益社団法人全国工業高等学校長協会理事長の他、公益財団法人産業教育振興中央会参与等を務める。神奈川県出身。

性、自己学習力や社会の中で自らのキャリア形成を計画・実行できる力等を身につける場として、工業高校はこれからも大きな役割を果たしていかなければなりません。

—これからの時代にふさわしいのは、どのような教員だと思われますか。

常に生徒の発想を尊重し、その能力を引き出すこと、生徒自身が主体的に学び続ける好奇心を育てることが大切です。工業科の生徒がそれぞれの道を究め、プロフェッショナルになる道を切り拓いていけるように指導できる教員が必要になってきます。そのためには、まず自らの知識・技術を確認なものとし、そのうえで教えることについて学び続けることが求められます。大学は専門的な知識や高度な技術を学ぶ場であると同時に、たくさんの人と出会い、さまざまな経験を積むことができる場です。その中で、伝える力や相手を理解する力も養ってほしいと思います。

—日本大学工学部の後輩たちにメッセージをお願いします。

高校教員の仕事は人を育てる仕事です。人と接する楽しさがあり、やりがいも大きいものです。私は、自分が教えた生徒たちが、社会人となって一生懸命生きている姿を見るたびに喜びを感じ、この仕事をしてよかったと思います。皆さんには、優秀で胆力のある技術者としての活躍を期待するとともに、工業高校の教員として日本のものづくりを支える若い力を育てる道もぜひ選んでほしいと願っています。やる気・元気・本気で頑張ってください。

■平成27年度父母懇談会

ご父母との連携を深め、 教育の充実を図るために

工学部では、ご子女の成績や進路等についての相談の場として、父母懇談会(個別面談)を毎年実施しています。この行事は、ご父母の皆さまとの連絡を密にし、ご子女に関する各種のご相談及び工学部に対するご意見ご要望等をお伺いし、ご子女への教育の充実を図るとともに、ご父母のご意見を学部運営に反映させることを目的としています。



今年は5月30日(土)に開催し、235組のご父母の皆さまにご参加いただきました。70号館を会場に学科ごとに教室を設けて学部や学科の紹介、生活や就職についての説明を行いました。ご子女が大学でどのように学んでいるのか、工学部はどのようにサポートしているのかをご理解いただく良い機会になりました。

個別面談では、教員が学生一人ひとりの授業の出欠や履修状況を確認しながら、今後の学習の進め方をアドバイスしたり、就職や大学院進学などの進路についての相談に懇切丁寧に応えまし。短い時間ではありましたが、ご父母の皆さまには有意義で実りのある懇談になったようです。



父母懇談会の感想や工学部に対するご父母の声



土木工学科2年生のお母様(東京都)

親元を離れているので不安でしたが、先生方がしっかりサポートしてくださっていることや子どもの大学での様子がよくわかって安心できました。成績を向上させるために、親はどうサポートすればよいかアドバイスもいただき、大変参考になりました。



建築学科2年生のお母様(茨城県)

成績表を見ながら担任の先生から助言をいただき、こちらの考えも聞いていただいたので大変よかったです。10分程度の面談でも、来る価値があると思います。大学は敷居が高いイメージなのでこうした機会は大変貴重ですし、ぜひ続けてほしいですね。



機械工学科2年生のお父様(岩手県)

子どもが普段どのような生活しているのか、勉強の状況はどうなのかを知りたいと思い参加しました。わかりやすく説明をいただき、よく理解できました。工学部は環境がよく、設備もサポートもしっかりしているので、親としても満足しています。



電気電子工学科3年生のお母様(茨城県)

親身に説明してくださり、大変有意義な時間を過ごせました。知リたかった情報やわかりやすい資料もいただいたので、今後に役立たせたいと思います。授業以外にもオフィスアワーなど質問できる窓口が設けられているのはよいと思いました。



生命応用化学科2年生のお父様・お母様(福島県)

単位が取れるか心配で相談に来ましたが、先生から勉強の仕方についてアドバイスをもらえまし、具体的に知りたかった就職についても詳しく説明していただきました。工学部は環境も良く、先生方がとても親切だという印象を持っています。



情報工学科3年生のお父様(青森県)

父母懇談会に参加するのは2回目です。今回は就職が大学院進学かについて相談しました。教授から貴重なアドバイスをもらったので活かしたいと思います。興味を持って入った大学ですから、知識を蓄え仲間を増やし、いろいろ吸収してほしいと思っています。

その他の感想・ご意見

- 工学部は施設が立派で構内も整備されていて、勉強できる環境は日本一だと思う。(建築学科3年のお父様)
- 研究や就職活動について直接研究室の先生に話が聞けてよかった。(情報工学科4年のお母様)
- 先生からいつでも質問や相談していいと言われてもらった。(生命応用化学科3年のお父様)
- 学生同士でコミュニケーションが取れる場所をつくってほしい。(電気電子工学科4年のお父様)
- 成績優秀者への奨学金だけでなく、もっと日本大学らしい奨学金を増やしてほしい。(土木工学科2年のお父様)

ご父母の皆さまからいただいた貴重なご意見は、学部運営に役立ててまいります。今後ともご指導ご鞭撻をいただけますよう、お願いいたします。この場をお借りいたしまして、ご参加いただいたご父母の皆さまに感謝申し上げます。